



あいの
の



【開設当時の藍野病院】

Vol.23

平成27年5月発行

Contents

- ・ 創立50周年を迎えて
- ・ 脳ドックのご案内
- ・ 就任医師紹介
- ・ あいの認知症プロジェクト
- ・ 講座・セミナーのご案内

創立50周年を迎えて

この度、医療法人恒昭会は創立50周年を迎えました。

昭和40年4月4日に現在の地で、藍野病院として出発して前半世紀と相成ります。

これまでに多くの関係各位のご支援、また多くの職員の支えや努力で、今日の恒昭会があります。激動の高度成長期や近年の低成長期を経て、その間に藍野花園病院、青葉丘病院の開院や学校法人藍野学院、社会福祉法人あいの会を産み出したのは、創設者の理念である「病める人々を医やすばかりでなく、慰めるために」を実践する目的であったものと思われま

す。現在、我が国は急速な少子高齢化に直面し、医療福祉の分野でも新たな枠組み作りが急がれています。政府は地域包括ケアシステムと言われる新たな概念を作り、団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けて、医療体制の整備に取り掛かり始めました。

我々は地域に支えられ、これまで病院運営を行ってまいりました。これからも微力ながら地域医療の一端を担えるよう、更なる医療の充実を目指して、職員一同全力を尽くしていきたいと思っております。

今後も一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

医療法人恒昭会 理事長 小山郁夫



50周年を迎えて ～めざすは『長寿医療センター』～

藍野病院は50周年を迎えました。ひとえに地域の先生や医療・介護スタッフの皆様のご支援ならびにこれまでの職員の努力による賜物であり、あらためて心より感謝を申し上げます。

当院は精神病院として設立されましたが、当初より身体合併症治療にも力を入れていたため内科、外科を初めとする診療科が次第に充実し、平成13年には精神科治療の入院病棟を藍野花園病院に移し、現在は『認知症も診られる総合病院』として診療を展開しております。

そして、藍野病院が地域で担うべき今後の役割は高齢者医療の中核病院、すなわち『長寿医療センター』であると考えております。

高齢者の病態特性は、複数の病気を合併していること（多病）、認知症になりやすいこと、また認知症でなくとも身体状況の悪化に伴い容易に精神症状（せん妄など）を合併することです。

当院の利点は、単に多くの診療科を備えているだけでなく、各診療科間の垣根が極めて低くすぐに協力体制がとれる気風が培われていることです。また、リハビリテーション科や臨床心理科などのコメディカルスタッフが豊富であり、多病に対する『チーム医療体制』が可能です。『糖尿病』『パーキンソン病』『関節リウマチ』などでは、すでに『チーム医療』に基づく治療プログラムを実施しています。

また、当初より身体合併症も診る精神病院として診療を積み重ねてきた経緯があるため、『身体と精神を含めた全人的医療』を実践しうる基盤が出来ています。急性期から亜急性期、慢性期病棟まで備えていることも、患者様の病状や社会的背景に配慮した入院対応ができるため高齢者医療として利点です。急増する認知症に対しては、神経内科と精神科の2診体制によるもの忘れ外来や認知症治療病棟を活用して、認知症の早期診断、BPSD治療、身体合併症治療、いわばオールインワン専門病院としての役割を果たしております。

『長寿医療センター』化をめざして、平成26年6月より『予防医療センター』を立ち上げ、生活習慣病や脳卒中、認知症など要介護状態の予防にも取り組みを始めました。また本年2月には、『在宅療養後方支援病院』を申請致しました。在宅療養されておられる高齢の患者様やその在宅療養を直接支えておられるかかりつけ医の先生に対する後方支援の役割を果たすことが目的です。

さらに、後方支援病院としての役割を踏まえて、登録医の先生に対して、平日夜診を終了される午後8時までの入院のご依頼を積極的に受け入れられる時間外入院体制を整備致しました。ご活用頂ければ幸いです。まだ至らぬ所も多い病院ではありますが、職員一同が『長寿医療』という同じ目標に向かって頑張っております。

今後ともご指導・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

藍野病院 院長 杉野正一

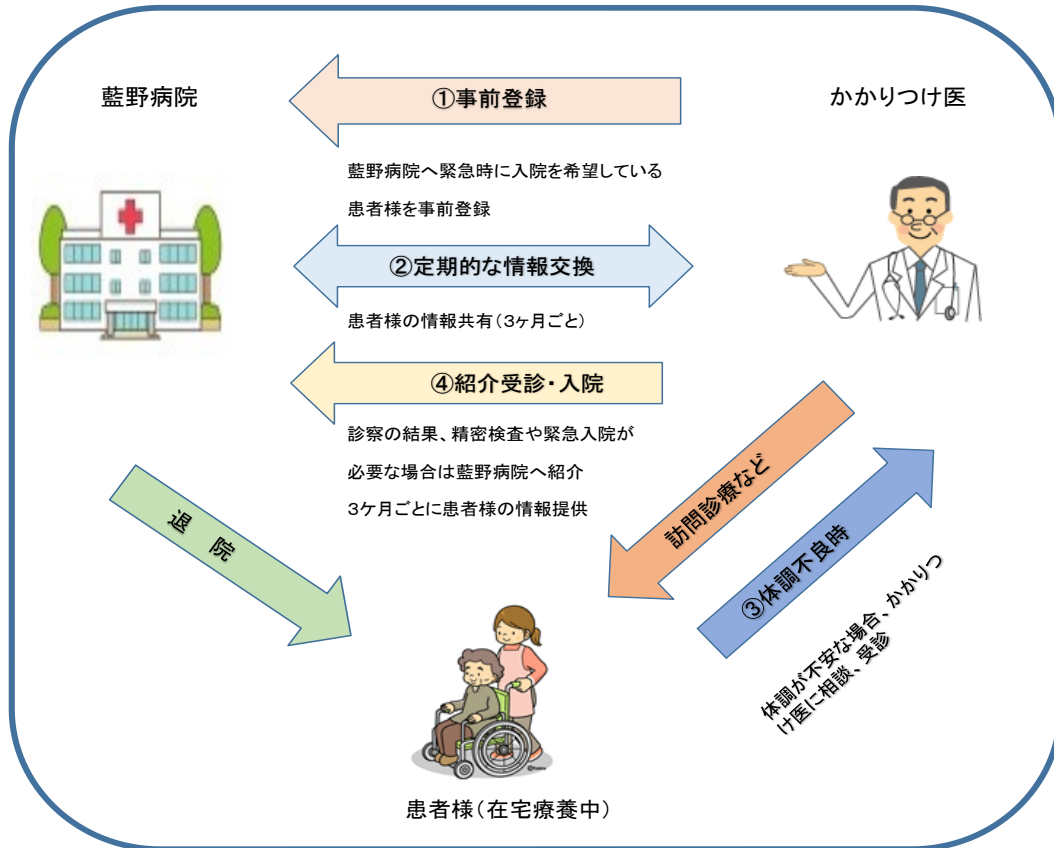


在宅療養後方支援病院のご案内

■在宅療養を支えるため、
在宅療養中の患者さんの

緊急時には24時間迅速に対応し、必要に応じて入院受入れを行います。

1. 在宅療養を担当している医療機関の連絡に基づき、24時間いつでも診療を行います。
2. 入院が必要となった場合、原則当院で入院治療を行います。



在宅医療を支えるため、在宅療養中の患者様の緊急時には24時間迅速に対応し、必要に応じて入院の受入れをいたします。

緊急時の対応には常に万全を期する必要があります。初めての患者様でも日頃より情報を把握しておけば、事前情報のない患者様とは全く異なる迅速な対応ができます。

当院では、在宅医療を支えるべく**在宅療養後方支援病院**として、在宅医療を受けている患者様の情報を事前に把握し、緊急時における迅速な対応“**24時間体制の後方支援**”を行ってまいります。

時間外の受入れ体制が変わります

平成27年5月18日より、開業医の先生方の診療時間に合わせ、**17時～20時までの時間帯(月～金曜日)**については、医師及びコメディカルスタッフを配置し、緊急患者様の受入れをいたします。

ご連絡は TEL 072-627-7611 (病院代表)
FAX 072-627-3627

■脳ドックのご案内

いつもの健康診断に**脳の検査**はありません。

そこで 脳ドック

介護が必要になる原因、第1位は「**脳血管疾患**」です。

脳血管疾患(脳卒中)は、ときに無症状で進行します。また発症した場合には即座に生命を脅かし、重篤な後遺症を残すことも少なくありません。全年齢で見ると死因の第4位ですが、働き盛りの世代では第3位です。しかし、年に1度の一般的な健康診断では脳を直接調べる検査は行いません。

寝たきりや麻痺・言語障害の危険を回避するために、自覚症状のないうちの検査がとても重要です。

このような方におすすめ

40歳
を過ぎた

高血圧

糖尿病

ストレス
が多い

身内が
脳卒中
にかかった

■ 藍野病院の脳ドック



4人の医師

+



5種の検査

ドック費用

¥30,000 (税込¥32,400)

茨木市・高槻市など、市町村によって助成金制度があります。

所要時間 約**120分** (問診・結果説明含む)

基本検査^{※2}
15分

頭部

MRI 45分
頭部MRA

頸部MRA

頸部エコー
15分

心電図
10分

血液検査
10分

※2 基本検査 … 身長・体重・腹囲・血圧・BMI

ご予約・お問い合わせ
予防医療センター



0120-011-489

受付時間 9:00 ~ 16:00 (日祝除く)

おーい い や や く

就任医師紹介

改めて藍野病院にお世話になることになりました林です。
離れていた一年で改めてこの病院の手技の多さや、バラエティーの豊富さを考え、戻ってくることに決めました。
この一年で一児の父ともなり、また以前のように、頑張っていく所存です。
よろしくお願いいたします。

はやし しゅうへい
内科医 林 修平



2015年4月より内科常勤医としてお世話になっております。大阪医科大学リウマチ・膠原病内科に所属しており、昨年は非常勤としてお世話になりました。

まだ、不慣れな点も多くご迷惑をおかけすることもあります。病院の一員として患者様や地域の皆様によりそった医療を提供できるように日々精進していきたく思いますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

はかまた みなこ
内科医 袴田 美菜子



あいの認知症プロジェクト No7 ～認知症施策総合推進事業～

《認知症施策総合推進事業》

現在、日本は5人に1人が高齢者という社会であり、認知症の人や軽度認知症機能障害の方が急増しています。これに対して厚生労働省は平成25年度から29年度までの認知症施策推進5か年計画を「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～」と名付け、認知症になっても、なるべく住み慣れた地域で暮らしていただけるように以下の重点項目を挙げています。

- ①標準的な認知症ケアパスの作成・普及
- ②早期診断・早期対応
- ③地域での生活を支える医療サービスの構築
- ④地域での生活を支える介護サービスの構築
- ⑤地域での日常生活・家族の支援の強化
- ⑥若年性認知症施策の強化
- ⑦医療・介護サービスを担う人材の育成



この中で、⑤の地域での日常生活・家族の支援強化として、認知症の人ができる限り住み慣れた地域で暮らすために市町村で医療機関→介護サービス事業者→地域の支援機関等を繋ぐコーディネーターの役割を果たすのが「**認知症地域支援推進員**」です。

当院は、茨木市より認知症施策総合推進事業業務の委託を受けています。



平成27年4月～6月 講座・セミナーのご案内

4月25日（土） 茨木市医師会認知症ネットワーク事業 DMSS-W説明会 14：00～16：00

場所 医師会事務局2F 会議室

講演 杉野正一（藍野病院 院長 神経内科）

『DMSS-W（認知症診断・支援システム）～操作法と活用のコツ～』

対象 ネットワーク事業参加医療関係者

5月16日（土） あいのまちの保健室 講演会 14：00～15：30

場所 藍野病院6F 大会議室

講演 木村直子（藍野病院 薬剤師）

『パーキンソン病のお薬とリハビリの話』

対象 地域住民

6月21日（日） 認知症セミナーin茨木 14：00～16：00

～レビー小体型認知症の講演とドキュメンタリー映画『妻の病』上映会～

場所 茨木市立生涯学習センター「きらめきホール」

講演 杉野正一 『レビー小体型認知症のお話し』

映画 『妻の病～レビー小体型認知症～』

対象 地域住民、医療関係者（申込み先着順 450名）

TEL:072-627-7611（代）

FAX:072-627-3627

入院のご相談は「地域医療連携室」まで